教科目名　歴史学概説　(History)

学科名・学年　：　全学科５年　　（教育プログラム　第２学年　○科目）
単位数など　：　選択　２単位　（前期１コマ，後期１コマ，授業時間 46.5 時間）
担当教員　：　田中美穂

授業の概要

先史時代から現代までのブリテン諸島史を中心に講義する．日本で「イギリス」と呼ばれている国は，イングランド，ウェールズ，スコットランド，北アイルランドからなる連合王国であり，隣国アイルランド共和国とあわせてブリテン諸島地域を構成する．かつてブリテンの支配や侵攻を受け，現在まで紛争が絶えない地域にも注目して授業を進める．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)**

(1) ブリテン諸島の多様性，および「ネイション」意識やナショナリズムの動きについて理解する．（定期試験）
(2) 帝国主義時代が生んだ負の遺産である地域紛争の要因や紛争解決に向けた取り組みについて理解する．(定期試験)
(3) 講義内容から選んだ歴史的なテーマについて考え，論述する力を身につける．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	ブリテン諸島の歴史とは 創られた「伝統」と「ケルト」 鉄器時代とローマン・ブリテン 聖人と修道院 ヴァイキング時代 イングランド ウェールズ	○「イングランド中心史観」や「ケルト・ブーム」を克服し，「ブリテン諸島史」の重要性について理解できる． ○海外からのブリテン諸島内への民族移動について理解できる． ○ブリテン諸島のそれぞれの地域の王国形成史について理解できる．	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 スコットランド アイルランド 「アーサー王」伝説 百年戦争 テューダー朝(1)	○現在につながる各地の「ネイション」意識の形成について理解できる． ○「アーサー王」とイングランド王権との関係，および「アーサー王をめぐる」史実と伝説の違いについて理解できる． ○中世から近世にかけてブリテン諸島の歴史が理解できる．	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	テューダー朝(2) 諸革命の時代 ヴィクトリア女王の時代 ブリテンとアラブ世界 ブリテンとインド アイルランドの独立 ブリテン諸島と階級社会	○ブリテン帝国の植民地とされた国々が独立を達成するまでの過程を理解できる． ○今も続くブリテンの旧植民地の紛争について理解できる． ○帝国主義の問題点について理解できる． ○19 世紀にグローバルな展開を見せて世界の覇者となったブリテンが，現在抱える諸問題について理解できる．	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 ブリテン諸島と移民 ブリテン諸島から北アメリカへ 北アイルランド紛争 現代のブリテン諸島(1) 現代のブリテン諸島(2)	○かつてブリテン帝国の植民地であったアイルランドの現代史について理解できる． ○紛争解決のために行われてきた取り組みについて理解できる． ○現代のブリテン諸島の社会や文化の特色について理解できる．	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	講義中に話す内容について，各自でしっかりノートまとめをすること．	【総合達成度】
教科書	毎回レジュメや資料を提供する．	
参考図書	毎回授業で紹介する．	
自学上の注意	世界史の教科書をはじめ授業内容に関連する文献を読んでおくこと．	
関連科目	世界史，歴史学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科）	
総合評価	計 4 回の定期試験の平均点によって評価する．平均点＝総合評価 60 点以上が合格．平均点が 60 点未満の者には再試験を行うことがある．この場合の実施方法，条件などは授業において明示する．	【総合評価】　　点